

令和3年（2021年）9月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（1日目）

令和3年9月9日（木）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	栗 國 彰 (自 民 党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 2020 年度決算について 2 L R T 事業整備について 3 マイナンバーカード普及率について 4 市営住宅行政について	(1) 2020 年度一般会計、特別会計歳入歳出決算額(収入済、支出額)について伺う (2) 一般会計の歳入、歳出決算額について (1) L R T (次世代型路面電車)の導入に向けたスケジュールについて伺う (2) 公共交通事業者や市民の合意形成の取組と今年度の L R T 導入に関する事業費の予算について 本市のマイナンバーカードの交付普及率について伺う 真地市営住宅の建替工事の進捗状況と今後のスケジュールについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年９月９日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	多和田 栄子 (ニライ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 有機フッ素化合物 P F O S、P F O A について 2 土地規制法案について 3 学校 P C R 検査について 4 病児、病後児保育事業について	去る、８月 26 日在沖海兵隊は米軍普天間飛行場で保管していた有機フッ素化合物（P F O S）を含有する汚染水を公共下水道に放出した。毒性発ガン性が指摘される P F O S は、自然界ではほぼ分解されず、体内に蓄積されるといわれている。環境への影響、下水道から海へと流れることで風評被害等、米軍基地が優先される沖縄の状況は、異様としか言えない。市長の見解を伺う 「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」の廃止を求めることへの要請書が市長に提出されている。見解を伺う 新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、教職員の多忙化は増すばかりである。その中で学校 P C R 検査に係る検体採取業務が行われている。以下伺う (1) 学校 P C R 検査が行われた学校は何校か (2) 検体採取はどのように行っているのか。安全確保は取られているか (3) 業務により教職員が感染した場合、公務災害は適用されるか 子どもが病気の際、自宅での保育が困難な保護者において、安心して子育てできる環境に資するために病児保育は必要である。城間市長は、その重要性を施政方針の中でも取り上げている。そこで以下伺う (1) 本市の病児保育の現状及びニーズはどうなっているのか (2) コロナ発生以降の保育状況はどのようになっているか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 ステイホーム児童の預かり事業について	ステイホーム児童の預かり事業が7月から始められている。市民に周知されていないように思う。事業の内容と病後児保育との違いはなにか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年９月９日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	前 田 千 尋 (日本共産党)	1 コロナ禍における防災行政について	(1) コロナ感染拡大への対策を講じることと合わせ、災害から国民の命と財産を守る政治にしていくことが重要になっている。見解を問う (2) ２月定例会後の避難所における準備や計画の進捗状況を問う (3) この間のコロナ禍における避難所運営について問う
		2 コロナ禍における健康行政について	コロナ禍における乳幼児健康診査の実施状況を問う
		3 ジェンダー平等と生理の貧困について	「生理の貧困対策事業」で小中学校へ生理用品を配置することを高く評価する。生理用品を必要とする多くの子へ届けるためにはトイレへの整備が重要である。今後の対応を問う
		4 コロナ禍における中小業者・商店街支援について	(1) コロナ禍が長引き、中小業者や商店街は疲弊している。現在、行われている月次支援金の活用と県の「観光関連事業者等応援プロジェクト支援金」の周知の取組を問う (2) コロナ禍における中心商店街の防犯対策と騒音やトイレ問題等の解決に向けた本市の取組を問う
		5 福祉行政について	(1) 福祉バス「ふくちゃん号」の概要を問う (2) これまでの取組と改善を問う
		6 那覇文化芸術劇場「なは一と」について	感動を共有する文化の薫り高い新文化芸術発信拠点施設「那覇文化芸術劇場なは一と」がいよいよ来月 10 月 31 日の開館に、多くの市民から期待が寄せられている。計画を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年９月９日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	平 良 識 子 (ニ ラ イ) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 口腔保健支援センターの設置について 3 ごみ行政について 4 保育行政について 5 教育行政について	新型コロナウイルス感染症に感染した自宅療養者の支援体制について、現況と課題を伺う 沖縄県の子どもの虫歯が全国ワーストである現状を踏まえ、市民の歯科疾患の予防等による口腔の健康の保持を増進させる観点から、歯科口腔保健の施策を推進させるため、歯科口腔保健法第15条に規定される「口腔保健支援センター」を那覇市保健所内に設置することを提案する。本市の検討状況及び見解を伺う ごみ収集委託事業について、賃金の算定基礎の確立、不足する資機材を含めた委託料の見直しを去る6月定例会で求めたが、その後の対応状況を伺う 栄町市場内に設置している地域子育て支援拠点事業つどいの広場「わくわく」の次年度の事業継続について伺う (1) オンライン授業の継続について 新型コロナウイルス感染予防のために学校を休んでいる子どもたち、また不登校の子どもたち等の教育支援として、オンライン授業の継続を提案するがどうか (2) 制服のネーム刺繍について 0 特に中学校の制服において、生徒の名前が胸元に刺繍されたネーム入り制服について、防犯及び個人情報保護の観点から、次年度より廃止するべきである。現状及び見解、今後の対応について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 生理の貧困対策について 生理の貧困解消及び全ての子どもたちが安心していつでも生理用品が使用できるよう、小中学校の女性トイレに生理用品の常備を、去る6月定例会で提案した。その後の対応について伺う (4) パワーハラスメントの対策について 小学校の部活動における指導者から児童へのパワハラ問題について、教育委員会としてどのように対応しているのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年９月９日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	糸 数 貴 子 (ニ ラ イ) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 教育行政について	(1) コロナ禍の教職員支援について コロナ禍で、教職員が消毒やオンライン授業をするなど、新しい取組や負担が一気に増えることで、子どもたちの心に寄り添う余裕がなくなることが懸念される。教職員の負担軽減のために臨時職員の配置など、どのように支援しているか伺う (2) 子どもの自殺予防について 夏休み明けは子どもの自殺の危険性が高まる。今年もコロナ禍が続く、子どもたちのストレスはかなり大きいと思われる。子どもの自殺予防のための教職員の人権研修、自殺予防研修など、各学校での取組について伺う (3) 人権教育、性教育について 国の 2021 年版男女共同参画白書によれば、コロナ禍の影響で、2020 年度はDVの相談件数が前の年に比べて 1.6 倍、ワンストップ支援センターに寄せられた性暴力や性犯罪の相談件数が 1.2 倍となっている。県内のワンストップ相談支援センターに寄せられた相談件数も、19 年度比 1.9 倍で、20 歳未満の被害が 34%を占めている 被害を防ぐためには、なるべく早い段階から暴力から身を守るための人権教育や性教育による正しい知識が必要だと考える。市内小中学校での人権教育、性教育の実践はどのようなになっているか伺う (4) 生徒のワクチン接種の取扱いについて 現在、国はワクチンパスポートを進めようとしているが、さまざまな理由によりワクチン接種ができない、あるいはどうしても不安で接種したくないという人が、差別や偏見を受けるようなことがあってはならない

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 男女共同参画行政について	特に子どもたちのワクチン接種については、各家庭それぞれの「子どもの大切な命を守る」という観点からの判断になる 学校で教職員が子どもたちにワクチン接種を促すことで、同調圧力で子どもたちのいじめや偏見を生むことにつながる恐れがある。学校でのワクチン接種の呼びかけについては、任意接種であることを踏まえ、慎重であってほしいと考えるが、現在どのような取扱いになっているか伺う (1) コロナ禍の男女共同参画行政について コロナ禍でDV、性暴力、女性の自殺が増えている。女性の貧困についても深刻で、ひとり親家庭への影響は特に大きくなっている。先に紹介した内閣府の令和3年版男女共同参画白書では、コロナ禍により「男女共同参画の遅れが露呈した」と指摘しているが、男女共同参画行政の役割と今後のなは女性センターの取組について伺う (2) パートナーシップ制度の拡充について 那覇市では、同性カップルに対して、申請に応じてパートナーシップ登録、証明書の交付を行っている。自治体でできる先進的な取組としてスタートしていることを評価する 一方、選択的夫婦別姓制度については、なかなか法制化が進まないという現実がある。そのために、戸籍上は婚姻届を出して通称使用で旧姓を名乗る人、そうではなく事実婚のカップルとして、婚姻届を出さないことを選択する人たちもいる。婚姻届を出せないことで、婚姻制度における法的サービスはもとより、民間の手続きやサービスでも不利益を被ることがある。そうした差別的な状況をなくすこともパートナーシップ制度の意義に入っている

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			パートナーシップ制度の要件の「2人の戸籍上の性別が同一であること」の部分削除し、異性カップルも含めることで、事実婚カップルもパートナーであることが証明され、不利益を減らしていける。差別の解消という制度の趣旨には反しないと考える。要件の変更を求めるが、見解を伺う (3) ファミリーシップ制度について パートナーシップ制度の拡充については、一緒に暮らす子どもも含めて家族であることを証明できるような、ファミリーシップ制度の導入を希望するが、見解を伺う
		3 平和行政について	那覇市の恒久平和のモニュメント「なぐやけ」は、2万9千人の那覇市民の慰霊碑として毎年慰霊祭を行っているが、2万9千人という人数はどのような内訳になっているのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年９月９日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	瀬名波 奎 (ニライ)	1 コロナ禍における文化行政について 2 コロナ禍におけるスポーツ行政について	新型コロナ感染症の影響により、昨年に引き続き那覇ハーリーや那覇大綱挽が中止となった コロナ禍における、伝統文化の継承について、 見解を伺う (1) コロナ禍の影響により、多くの公営スポーツ施設が閉鎖となっている 今後の見通しや対策について伺う (2) 老朽化したスポーツ施設や公園の整備について、現状と今後の取組を伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)		【答弁を求める者】 市長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年９月９日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	翁 長 俊 英 (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 SDG s の 推進について 2 公園行政に ついて 3 交通の安全 対策について	(1) 本市の進捗状況と成果について (2) 学校教育における啓発事業の状況について (1) 公園にスケートパークの設置状況と問題点 (2) 大石公園に設置の要望があるが見解を問う (3) 大石公園入り口の側溝の整備について 市道識名三原線通称(西銘通り)は以前から通行の安全性が危惧されていた。当該道路で過去に死亡事故が連続して発生している。通行の安全策について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年９月９日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	大 山 たかお (自 民 党)	1 コロナ感染 対策について	那覇市内における家庭内感染の状況と対応について
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 学校にお けるコロナ対策 について	学校におけるコロナ対策について
		3 スポーツ行 政について	宇栄原小屋内バスケットゴール整備について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和３年９月９日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	我如古 一 郎 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 コロナ禍の影響と対策について	デルタ株による感染拡大のコロナ禍で、雇用情勢が、急激に悪化している。事業者への補償のない自粛要請や、国民への外出自粛要請などによって、観光・飲食業をはじめ倒産・廃業が相次いでいる。特に非正規雇用の多い、女性と若者を中心に失業が深刻である。子育て世帯も、貯金を取り崩して、生活しているが、もう限界との声がある コロナ禍は、格差と貧困を拡大させ、少子化をさらに進行させている。生活苦などでの自殺、子どもの貧困問題、ヤングケアラーの問題など、コロナ収束後の社会をどのように回復させるのが、大きな課題となる (1) コロナ禍のもと、非正規雇用の派遣社員やパートの労働者は生活苦に陥っている。特に子育て世代やひとり親世帯、若者への影響が深刻である。見解を問う (2) 2020 年度は全体として自殺者が増えた。沖縄県の状況と女性の自殺が増加した要因を問う (3) 2020 年と 2021 年 8 月までの本市の親子健康手帳交付者数の 2019 年との比較を問う (4) 明石市が実施した、「生活見守りサポート利用券」事業の概要と意義を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 通学路の安全について	(1) 千葉県八街市での児童5人の死傷事故を受け、警察庁が緊急対策と交通事故防止対策を通達している。事故に対する見解と通達の内容を問う (2) 本市の通学路で、危険とされている箇所は何か所あるか。危険通学路はスクールゾーンとして機能しているのか。状況を問う (3) 市道真地7号は真地小学校のスクールゾーンであるが、違反車両が絶えない。状況と見解を問う
		3 防災対策について	(1) 異常気象、集中豪雨への備えについて、本市の土砂災害警戒区域はいくつあるか。6月・7月の沖縄地方集中豪雨の状況を問う (2) 真地小学校の防災マップには、市道真地7号は、地震発生時は「崖崩れ危険」の表示がある。避難場所の真和志高校への経路に使わないようにされている 教育委員会の見解を問う (3) 市道真地7号の石垣の状況は、この一年間でさらに悪化している。線状降水帯の発生で、全国で大災害を引き起こした時のような、豪雨が長時間続けば、この石垣は崩壊する可能性が高まっている。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長